

資料 1

フィンランドと諸外国における 中高等教育の学校系統図

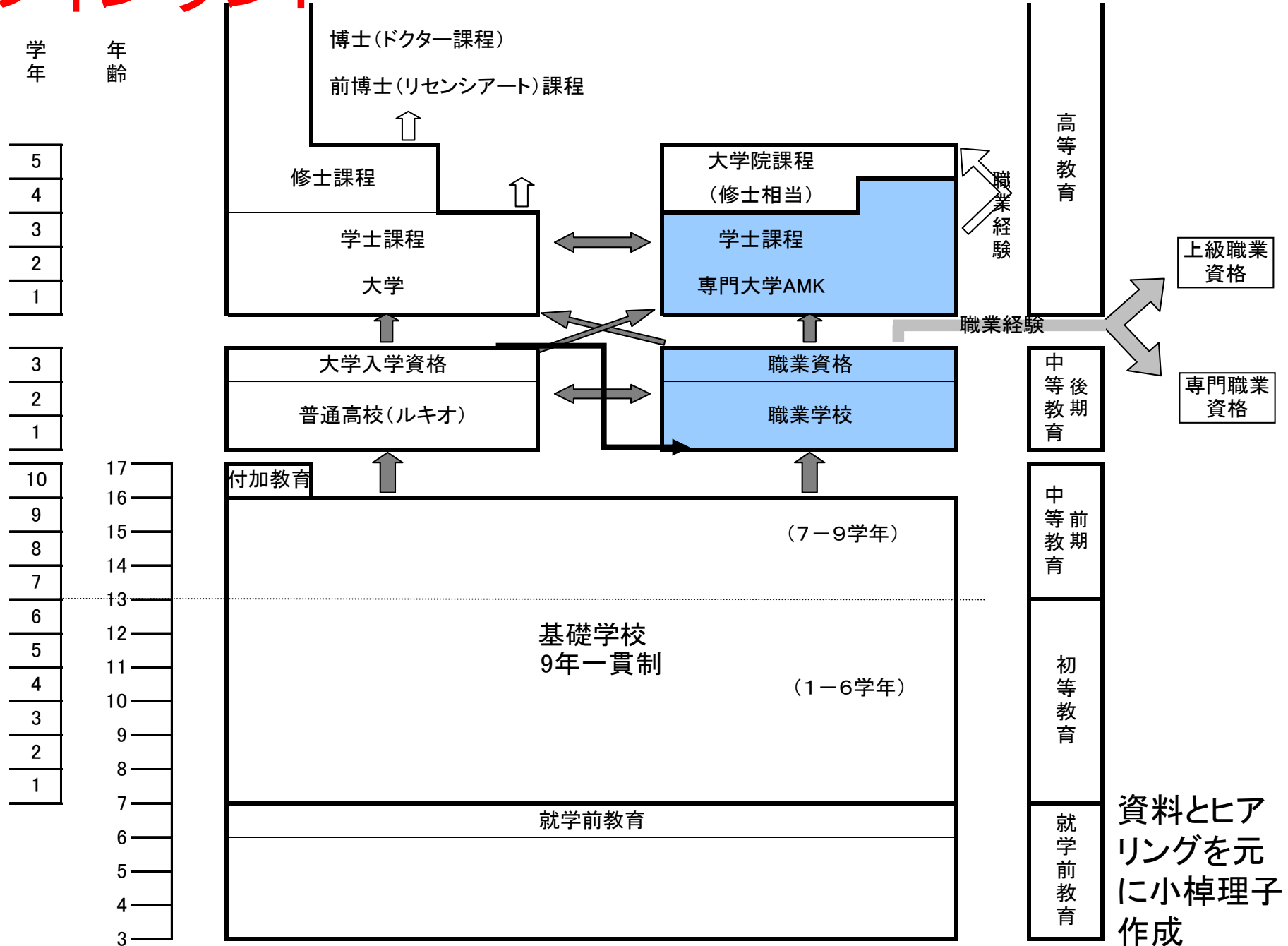
2009年10月27日

湘北短期大学 小棹 理子

文部科学省 諸外国の後期中等教育及び短期高等教育における職業教育
(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/015/siryo/08102203/001/016.htm)を

参考に加筆

フィンランド



フィンランド

- **就学前教育**
6歳向けプレスクールが学校やデイケアセンター(保育所)で行われている。
- **義務教育**
義務教育は基礎学校で行われており、日本の小・中学校にあたるが、9年一貫制。
- **初等教育**
初等教育にあたるのは基礎学校における1-6学年。
- **中等教育**
前期中等教育は基礎学校の7-9学年に相当する。第10学年は、任意で1年間の補習プログラムを受講することが可能(在籍者は第9学年の3%弱)。
後期中等教育は、基礎学校修了後に進学する普通高校、または、職業学校にて行われる。一般的には普通高校は大学、もしくは専門大学AMK進学希望者向け、職業高校は就職または職業教育機関での訓練を希望する生徒向けである。しかし、制度上は普通高校からでも職業学校からでも大学入学資格試験を受けることができる。
- **高等教育**
高等教育機関として、大学(学士課程3年+修士課程2年)があるが、一般的には修士号取得をもって「大学卒業」とされる、一方、専門大学AMKでは、学士が基本学位であり、3-4年で取得可能である。修士レベルの大学院に進学するためには、通常、職業経験が求められる。